



連合ニュース

【第22号】

発行日/2013年1月10日(木)
発行元/日本労働組合総連合会福島県連合会
会津若松地区連合会
発行人/酒井 義道
編集人/遠藤 徳雄
印刷/北斗印刷術 TEL.0242-32-2366
〒965-0026
会津若松市平安町3-3 会津協働会館内
TEL.0242-24-0500 FAX.0242-24-0564

1人暮らし高齢世帯除雪ボランティア「スノーバスターズ」の取り組み

私も地域を代表する労働団体としての、社会的責任を重んじ、地域社会への貢献として2年前からこの取り組みをすすめてきており、連合の機動力や献身的な姿勢が内外から高い評価を得ています。

今冬は年末12月初めにドカ雪に見舞われまして、本格的な冬将軍到来によって、手助けを求めニーズが増えることを想定し、昨年末から備えをしてきております。

今回も除雪の助けを求め高齢者を中心に1人暮らし高齢世帯の除雪支援を行おうとする日を予め設定して、当日行動参加をいただける方の登録により、各回それぞれ20名ずつの行動となりますが、市社会福祉協会と連携・調整の上、社協職員や公募の一般ボランティアでは手に負えないような場所(凄量の吹き溜まり家屋や排雪を必要とする箇所)を重点的に担当させていただきます。

この取り組みは、各構成組織・加盟組合のご理解とご協力、あくまで自主性・使命感を重んじてのボランティアではありますが、会津若松地区連合全体(すべての構成組織参加)の取り組みとして、特段のご理解とご配慮をいただければ存じます。

ちなみに、U-Aゼンセン本部台の取り組みとして、震災被災者のふくしまへの除雪支援ボランティア隊が、この2月に3泊4日で3班、延べ270人/日がこの会津にやって来ることになっておりますことをご紹介します。援軍1遠方より来るの気持ちで会津人の心として歓迎の意を表します。



2013年頭のごあいさつ

～ふくしまの復興・再生、働くことを軸とした安心社会の創造。
地域に根差した連合運動の強化をはかり、共に頑張ろう～



連合福島会津若松地区連合会
議長 酒井 義道

各構成組織並びに加盟組合、そして全ての働く仲間、明けましておめでとうございます。また、旧年中は、連合の運営と運動実践にあたり、ひとかたならぬご理解ご協力を賜りましたこと、改めて御礼・感謝を表す次第であります。

昨年は、東日本大震災の翌年、正に本格的な復興・再生に向けての復興元年と位置づけられた年でありましたが、その進捗は遅々として進まず、実感の伴わないもどかしいものとなりました。一方、リーマンショック以降、国際競争の激化や円高その他の背景により、製造業種をはじめとした業況不振・不透明感が続く中で、春闘や最賃署名、メーデー、政策要求行動、諸学習会、社会貢献活動、勤労者作品展など幅広い取り組みに結果をいただきました。とりわけ、年末の衆議院解散総選挙は、本当に時間のない中、精一杯の取り組みをさせていただいたものと感謝に堪えません。結果は、民主党の大惨敗によって、自民党の復権を許す残念なものとなりましたが、今後の、経営偏重の独裁・強行な国会運営に対しては、対峙し断固たる姿勢で、全ての働く者の立場に立った行動をしていくことが求められているものと考え、敗戦にうつむいてはならず、むしろ奮い立つ時と判断しています。

年を新たに、今年の夏は参議院議員選挙が待たなして控えています。既に、全国比例区では連合組織内8名の予定候補者の推薦も決まり、これに先行して擁立組織・支援組織段階では比勝に向けた取り組みが進められていますし、福島県選挙区と併せて、負けることのできない大事な天王山の闘いでありましたので、勤労国民のための本物の政治を取り戻す年にできればと願っています。

いずれにしましても、多難な時代潮流の中で、連合が取り組むべき課題は山積しておりますが、まず第一に取り組むべき課題は、東日本大震災からの復興と再生にあります。ふくしまの復興と再生は、未だ道半ばにあり、復興計画の着実な実施と早期実現に向けて行動して行かなければなりません。会津若松地区連合は、社会的責務として、復興と再生を支え、「希望と安心が力強く組み込まれた福島県、そして会津」を創り上げるために、全勢力を傾注して取り組むことにあります。

また、連合に課せられたもう一つの使命として、日本全体を早期に持続的・安定的成長に回帰させることが求められております。社会の不安定が許容範囲を超え、社会の持続可能性さえ脅かされる事態にあり、連合は、数十年続くこの社会の不条理や歪みからの早期脱却に向けて行動し、「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指して行かなければなりません。

そのことを強く意識し、地域社会との絆を深めながら威風堂々の連合運動を内外にアピールしていく。さらに、新地協がスタートした今、地域・職場の最前線の組織として、働くことを軸とした全ての働く者の安心社会の構築に向け磨きをかける。会津若松地区連合は各構成組織・加盟組合・組合員が一致結束、共にがんばろうではありませんか!以上、心境の一旦を表明し年頭のごあいさつとします。

「消費者力アップ学習会」

表記学習会は、会津若松地区労働協同会と会津若松地区連合の共催により、去る12月5日(水)18時～、会津若松市内の生涯学習施設・會津精古堂において開催しました。

これは、今日の多種・多様な情報化社会にあって、大きな社会問題化している消費生活、とりわけ誰でも陥りがちな消費契約上のトラブルに焦点を当て、その撃退法や回避策、潜んでいる問題などについて、認識を深めようとする位置づけでありました。

また今学習会には、県労働協同会からモデル例として心強い後押しを受け、一方では県労働協同会からの県生協連からも協力を得ながら、会津若松地区の構成団体や労働組合から65名の受講参加を得る中で開催でしたが、受講者からは異口同音に、「日々の働き暮らし中では中々学ぶ機会が少ない事象、これがかかると重要なことができてありがたかった。また聞いてほしい。」との好評を聞くことができ、主催側としても「3時間近い長い時間誰一人として途中で帰る人はおらず熱視線を送り聞き入る光景があり、関心事であること。」が伺えました。

特に、講師の広重美希先生の消費相談を通じた生の事例を身振り手振りで、或いは受講者との対話型というスタイルについても、その評価の所以と感じました。

この種の学習会は、新たな層(世代や性別)への対象を広げながら、2年に1回程度の割合で継続して聞くべきかと強く感じたいことを申し添え、事業報告とします。



会津若松地区連合第22回年次大会報告

東日本大震災から1年8ヶ月、本格的な復興・再生に向けた取り組みを大前提とし、経済・雇用環境は、いかに厳しくともこの地区特有の結束力で、組合員や家族の負担に応える運動に取り組む。そして、勤労市民からも共感され信頼されるようその社会的責任を果たそう!を誓い合いました。

全労済

安心して生きていく。自分も、家族も。
ムリのない掛金で、家族みんなに安心を。

スローガン 復興・再生に全力を尽くし「働くことを軸とする安心社会」につなげよう!

日時: 2012年11月28日(水)18時～
場所: 市内白虎町(会津若松フシントホテル)
構成: 代議員65名中57名出席、役員25名中22名出席
来賓: 連合福島、影山道幸会長、民主党第4区総支部長代行・渡部 謙典議長、社民党会津若松支部連合代表・小川右善様、連合政治政策フォーラム議員団(宮下雅志議員、木村政司市議、渡部優生市議、佐野和枝市議、松崎 新市議、丸山さよ子市議)、労金若松支店長・根本史郎様、全労済会津支所長・遠藤和夫様)
議長団: 坂内孝浩代議員(自治労)、木村健一代議員(JAM)
※資格審査委員長・津田浩二代議員(JR総連)
※大会運営委員長・小林二郎代議員(電機連合)
議事: 報告事項①2012年度活動報告
②2012年度一般会計決算報告
③2012年度一般会計監査報告
全ての報告事項に対し、質疑無、拍手にて承認

議案第一号 2012～2013年度運動方針に基づく2013年度の具体的取り組み(案)について
電機連合・生動行代議員より要望1件
「提出方針を承認する立場にあって、その補強的な視点で発言したい。原子力災害によって、代替エネルギーへのあり方について、取り沙汰をされているが、製造業界においては、安定的な電力の供給は大きなウエートを占める。その見通しが立たないに、再生可能エネルギーありきでは産業として成り立たず死活問題となるのではないかと危惧する。連合としての関わりを要望する。」
執行部応答
「連合のエネルギー政策は、震災による原子力災害を受けて見直しされ、得るにわたって原子力に頼らないですむ社会、原子力に依存しない再生可能エネルギーや自然エネルギーへの転換であるが、これは時間と費用の要する問題と受け止める。特に大規模の電力を安定的に必要とする業界においての心配は当然かと思う。いずれにしても、国策としては重要との関わりになるとは考えますが、私どももそのようなスタンスに立ってまいります。」
この後採決に入り、挙手多数により可決決定。

議案第二号 国政選挙の取り組み(案)について
電機連合・生動行代議員より意見1件
「連合が支持する民主党から、この4区で議立が出来なかったことは大変残念であるが、政策は政治と切り離すことはできない。これらが心配である。是非、次なる闘いに向けて民主党との適切な連携をはかりたい。」
執行部応答
「国政選挙の取り組みからして、連合福島を通じ民主党連立・本部と議立は当然ながらその作業を急ぐよう程度となく求めています。労働団体としての分限をわきまえ、そしてきちっと候補者が決まれば、応援として勝利の為に全力をあげるというのが、連合としての立場と認識する。
いずれにしても、与野党の空白をつくってしまったことは大きい、私も残念で仕方ない、でも議案のあいさつは誠一努力した結果の姿だろう。責めることはできない、次の闘いに向けて携わって行きたい。」
この後採決の結果、挙手で全会一致可決。

議案第三号 2012年度剰余金処分(案)及び2013年度予算(案)について
質疑無、採決の結果、挙手で全会一致可決。

議案第四号 役員途中退任に伴う補充選出について
今年次大会は役員定期改選期ではないものの、役員出身組織の事情により、途中退任した欠員分の補充について取扱いました。機関運営的にはその都度幹事会で確認しながら進めましたが、規約に準じ正式に大会におはかりするもので、以下の方々の選任について、議長のおしかりをお願いする。
幹事 新田健太 U-Aゼンセン・会津中央病院労組
幹事 根本久男 全自交労連・白虎タクシー分会
幹事 山口正幸 U-Aゼンセン・リオンドルユニオン
以上、前任者の残任期間とする。
質疑無、採決の結果、挙手で全会一致信任される。

議案第五号 その他
酒井議長より任期途中で退任された方で、表彰内規に当てはまる方に対し、年次大会の名において、記念品を贈呈し感謝の意を表したい。
表彰者
前幹事 笹沼一史 元JSD連合・リオンドルユニオン(幹事職3期7年在任)
そして、迎える1年へ取り組みの再スタートを記す大会宣言案を採択し、当面する国政選挙必勝決議(案)を採択し、酒井議長力強いがんばろう3唱で年次大会を終了しました。